

QUEENS CLIMAX

大会史上初のナイター開催!!

PGI

クイーンズ

第13回

クライマックス

12/26(木)~31(火) ボートレース蒲郡

(※トライアルは3日目・28日から)

女子賞金ランキング上位12人で争うクイーンズクライマックス。今年の舞台は蒲郡。大会史上初のナイター開催で、文字通り2024年の大トリを飾るレースとなる。今年も賞金トップをけん引した遠藤エミが夏・冬で頂点に立つのか、浜田亜理沙の連覇か、地元選手の躍進か、白熱の大みそ日決戦となりそうだ。



QUEENS CLIMAX

2024 MEMBER

選出4位

4590	渡邊 優美(福岡)	2年連続3回目				
蒲郡過去3年勝率(21.11.1~24.10.31)	6.92					
<p>今年は2月のびわこレディースオールスターで特別タイトル初Vを達成。福岡で行われたLCでも優出2着と地元ファンの期待に応える活躍を見せた。前期F2の影響が懸念されるが、進化を見せるか!?</p>						
今年の主な戦績(24.11.27現在)						
勝率	優出	優勝	LASび	LAS宮	LC	LCC
6.93	9	2	①	予落	②	-

選出5位

4123	細川 裕子(愛知)	2年ぶり6回目				
蒲郡過去3年勝率(21.11.1~24.10.31)	6.71					
<p>11月末時点で年間3Vは自己最多ペース。今年好調なのは間違いない。QCには5回出場しているがまだ優出はない。女子特別戦タイトルは喉から手が出るほどほしいはず。地元代表として奮戦必至だ!</p>						
今年の主な戦績(24.11.27現在)						
勝率	優出	優勝	LASび	LAS宮	LC	LCC
6.92	11	3	-	予落	④	予落

選出6位

4450	平高 奈菜(香川)	2年ぶり7回目				
蒲郡過去3年勝率(21.11.1~24.10.31)	6.86					
<p>2年ぶりにQCの舞台に帰ってきた。特に夏以降は優出を重ねていて、11月三国オール女子戦では1年半ぶりの優勝も果たした。事故禍を乗り越え、新期は3期ぶりにA1級に復帰する。近況成績は◎</p>						
今年の主な戦績(24.11.27現在)						
勝率	優出	優勝	LASび	LAS宮	LC	LCC
6.64	11	1	-	⑤	準5	③

選出1位

4502	遠藤 エミ(滋賀)	10年連続10回目				
蒲郡過去3年勝率(21.11.1~24.10.31)	8.33					
<p>レディースチャンピオンを昨年に引き続き連覇。SGはチャレンジカップまでに5節出場し、2回予選突破と地力をさらに上げた印象だ。今大会の最多出場者でもあり、7年ぶりの優勝に照準を合わせる。</p>						
今年の主な戦績(24.11.27現在)						
勝率	優出	優勝	LASび	LAS宮	LC	LCC
7.15	10	4	⑤	準3	①	-

選出2位

4208	三浦 永理(静岡)	2年連続6回目				
蒲郡過去3年勝率(21.11.1~24.10.31)	6.93					
<p>11月末時点で今年の優出回数、優勝回数ともに女子最多、年間勝率も女子トップと抜群の活躍を見せた。さらにレディースチャレンジカップの優勝で、まさにリズムは最高潮。第1回大会以来の優勝を目指す!</p>						
今年の主な戦績(24.11.27現在)						
勝率	優出	優勝	LASび	LAS宮	LC	LCC
7.55	19	5	⑥	予落	準4	①

選出3位

4546	浜田亜理沙(埼玉)	2年連続2回目				
蒲郡過去3年勝率(21.11.1~24.10.31)	6.76					
<p>昨年は初出場ながらクイーンのティアラを戴冠したシンデレラ。その勢いそのまま、今年も駆け抜けてきた。SGには3節出場し、オールスターでは見事に予選を突破した。史上2人目のQC連覇に挑む!</p>						
今年の主な戦績(24.11.27現在)						
勝率	優出	優勝	LASび	LAS宮	LC	LCC
7.43	12	1	準4	予落	⑥	-

大みそ日のナイターを制するのは!?

SGで探まれ地力増した遠藤エミ

三浦永理が女子年間成績トップ!



選出10位

4627	藤原 菜希(東京)	初出場														
蒲郡過去3年勝率(21.11.1~24.10.31)		5.33														
<p>東京の利器がついにQC初出場。今年は年間勝率も自己最高ペースといよいよ覚醒しつつある。年間優出回数は三浦に次ぐ女子2番手。安定感がついてきたのは間違いない。西橋同様、昨年の浜田の再現を狙う。</p>																
																
<p>今年の主な戦績(24.11.27現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>勝率</th> <th>優出</th> <th>優勝</th> <th>LASび</th> <th>LAS宮</th> <th>LC</th> <th>LCC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6.76</td> <td>13</td> <td>8</td> <td>準6</td> <td>準4</td> <td>⑤</td> <td>予落</td> </tr> </tbody> </table>			勝率	優出	優勝	LASび	LAS宮	LC	LCC	6.76	13	8	準6	準4	⑤	予落
勝率	優出	優勝	LASび	LAS宮	LC	LCC										
6.76	13	8	準6	準4	⑤	予落										

選出7位

4387	平山 智加(香川)	5年連続9回目														
蒲郡過去3年勝率(21.11.1~24.10.31)		7.1														
<p>寺田千恵や守屋美穂、田口節子といった常連組が出場しない今大会にあって、実績度で遠藤に次ぐ立場なのは疑いようもない。10月末から11月にかけては3連続優出と波に乗る。2回目の戴冠なるか？</p>																
																
<p>今年の主な戦績(24.11.27現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>勝率</th> <th>優出</th> <th>優勝</th> <th>LASび</th> <th>LAS宮</th> <th>LC</th> <th>LCC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6.70</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>準6</td> <td>予落</td> <td>準4</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table>			勝率	優出	優勝	LASび	LAS宮	LC	LCC	6.70	11	3	準6	予落	準4	⑥
勝率	優出	優勝	LASび	LAS宮	LC	LCC										
6.70	11	3	準6	予落	準4	⑥										

選出11位

4433	川野 芽唯(福岡)	2年連続4回目														
蒲郡過去3年勝率(21.11.1~24.10.31)		6.74														
<p>LCCの優出2着でボーダー下からQCの出場権を掴んだ。歴代クイーン経験者10人のうちの1人だけに、思い入れのある大会だろう。17年終盤から22年前半にかけて長く苦しんだが、完全に復調を果たした。</p>																
																
<p>今年の主な戦績(24.11.27現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>勝率</th> <th>優出</th> <th>優勝</th> <th>LASび</th> <th>LAS宮</th> <th>LC</th> <th>LCC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6.62</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>予落</td> <td>準6</td> <td>準5</td> <td>②</td> </tr> </tbody> </table>			勝率	優出	優勝	LASび	LAS宮	LC	LCC	6.62	7	2	予落	準6	準5	②
勝率	優出	優勝	LASび	LAS宮	LC	LCC										
6.62	7	2	予落	準6	準5	②										

選出8位

4961	西橋 奈未(福井)	初出場														
蒲郡過去3年勝率(21.11.1~24.10.31)		6.64														
<p>宮島LAS、LCCのGII優出もあり、デビュー9年目にしてQC初出場。オールスター、メモリアルと2回のSG出場も果たし、大きく成長する1年となった。狙うは昨年の浜田に続く初出場初Vだ！</p>																
																
<p>今年の主な戦績(24.11.27現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>勝率</th> <th>優出</th> <th>優勝</th> <th>LASび</th> <th>LAS宮</th> <th>LC</th> <th>LCC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6.79</td> <td>11</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>④</td> <td>-</td> <td>④</td> </tr> </tbody> </table>			勝率	優出	優勝	LASび	LAS宮	LC	LCC	6.79	11	1	-	④	-	④
勝率	優出	優勝	LASび	LAS宮	LC	LCC										
6.79	11	1	-	④	-	④										

選出12位

3618	海野ゆかり(広島)	3年ぶり6回目														
蒲郡過去3年勝率(21.11.1~24.10.31)		5.91														
<p>QC出場権、最後の切符を辛くも手に入れた。ここぞという時に繰り出すまくりは健在。第1回以来、7年ぶりに地元宮島で行われたLASを消化不良で終えたうつぶんを晴らすための舞台は整った！</p>																
																
<p>今年の主な戦績(24.11.27現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>勝率</th> <th>優出</th> <th>優勝</th> <th>LASび</th> <th>LAS宮</th> <th>LC</th> <th>LCC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6.46</td> <td>11</td> <td>2</td> <td>④</td> <td>予落</td> <td>予落</td> <td>予落</td> </tr> </tbody> </table>			勝率	優出	優勝	LASび	LAS宮	LC	LCC	6.46	11	2	④	予落	予落	予落
勝率	優出	優勝	LASび	LAS宮	LC	LCC										
6.46	11	2	④	予落	予落	予落										

選出9位

4183	宇野 弥生(愛知)	12年ぶり2回目														
蒲郡過去3年勝率(21.11.1~24.10.31)		6.27														
<p>今年は序盤に飛ばしたが4月以降は低調ムードとなっていた。しかし秋口からは復調の気配を漂わせる。第1回以来12年ぶりのQC出場。しかも地元開催となれば気合は十分だろう。S力で魅せる。</p>																
																
<p>今年の主な戦績(24.11.27現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>勝率</th> <th>優出</th> <th>優勝</th> <th>LASび</th> <th>LAS宮</th> <th>LC</th> <th>LCC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5.97</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>②</td> <td>予落</td> <td>予落</td> <td>予落</td> </tr> </tbody> </table>			勝率	優出	優勝	LASび	LAS宮	LC	LCC	5.97	8	3	②	予落	予落	予落
勝率	優出	優勝	LASび	LAS宮	LC	LCC										
5.97	8	3	②	予落	予落	予落										

下位グループも逆転狙い虎視眈々 実績で上回る平山智加の安定感! 地元の宇野弥生がS力で波乱生む

舟券直結データで クイーンズクライマックスを大攻略

POWERED by



DATA-1 ターンランキング

トップは川野芽唯。レディースチャレンジカップ優勝戦で道中逆転の末、年末の出場権を自力で獲得した。あの旋回を見ると今回出場選手でターンカトップも納得だ。2位タイの浜田亜理沙や渡邊優美は、道中の逆転が本当に多く、先頭を追い抜くことも珍しくない。また、スピードクイーンメモリアルの選考でもレース場1位のタイムをいくつも記録している。

ターンカ順位	選出順位	登番	選手名	支部	平均値
1位	11位	4433	川野 芽唯	福岡	71.5
2位	3位	4546	浜田亜理沙	埼玉	71.6
2位	4位	4590	渡邊 優美	福岡	71.6
4位	10位	4627	藤原 菜希	東京	71.7
5位	8位	4961	西橋 奈未	福井	71.9
5位	1位	4502	遠藤 エミ	滋賀	71.9
7位	2位	4208	三浦 永理	静岡	72.2
8位	5位	4123	細川 裕子	愛知	72.4
9位	9位	4183	宇野 弥生	愛知	72.5
10位	6位	4450	平高 奈菜	香川	72.6
11位	7位	4387	平山 智加	香川	72.7
11位	12位	3618	海野ゆかり	広島	72.7



DATA-2 イン1着時の2着傾向

クイーンズクライマックスに出場する選手の2着傾向は、かなり偏りがある。①-②タイプの中でも、渡邊優美の50.0%は全選手の中でも上位に入るほどの占有率。細川裕子、西橋奈未、藤原菜希、川野芽唯も40%を超えているので、舟券的には絞って勝負できる。一方、浜田亜理沙や平高奈菜は数少ない①-③タイプ。そして以前は圧倒的な①-③タイプだった海野ゆかりが最近①-②の方が多いいことは情報のアップデートが必要だろう。

登番	選手名	①-②	①-③
4502	遠藤 エミ	37.2%	28.2%
4208	三浦 永理	32.0%	23.3%
4546	浜田亜理沙	22.4%	31.8%
4590	渡邊 優美	50.0%	31.4%
4123	細川 裕子	42.9%	22.1%
4450	平高 奈菜	25.4%	30.2%
4387	平山 智加	36.4%	31.8%
4961	西橋 奈未	41.1%	24.7%
4183	宇野 弥生	30.7%	27.3%
4627	藤原 菜希	40.7%	23.5%
4433	川野 芽唯	42.9%	11.9%
3618	海野ゆかり	36.4%	35.2%

■ =特に占有率が高い選手



DATA-3

仮想AIスリット

トライアル初戦のメンバーで、粋なりを想定した仮想AIスリット。11Rは三浦永理がインからしっかりスタートを踏み込んでも、中へこみになる可能性が高いとAIは見ている。カドから平山智加が仕掛けるか、さらに外の藤原菜希がかましていくのか。12Rは遠藤エミと渡邊優美はしっかり踏み込むが、細川裕子が若干立ち遅れそう。こちらもカドから西橋奈未、さらに宇野弥生の攻めがスリット隊形のカギを握りそう。



2024/12/28 トライアル 11R

枠番	選手名	VERY SLOW	SLOW	FAST	EXTREME
1	三浦 永理	17.6%	18.8%	20.7%	42.9%
2	浜田亜理沙	19.8%	29.2%	25.3%	25.7%
3	平高 奈菜	17.3%	28.6%	31.1%	23.1%
4	平山 智加	14.8%	29.6%	25.1%	30.4%
5	藤原 菜希	9.7%	18.5%	27.2%	44.6%
6	川野 芽唯	61.4%	24.1%	8.9%	5.7%



2024/12/28 トライアル 12R

枠番	選手名	VERY SLOW	SLOW	FAST	EXTREME
1	遠藤 エミ	12.8%	18.5%	22.7%	45.9%
2	渡邊 優美	16.6%	27.1%	26.3%	30.1%
3	細川 裕子	25.6%	36.3%	26.8%	11.3%
4	西橋 奈未	17.4%	24.1%	28.8%	29.7%
5	宇野 弥生	8.7%	18.2%	29.6%	43.5%
6	海野 ゆかり	43.1%	28.8%	16.2%	11.9%



QUEENS CLIMAX

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4590	渡邊 優美	1	6.77	73.0%	82.8%	89.3%
		2	6.78	23.2%	60.9%	76.2%
		3	6.78	21.9%	49.6%	74.5%
		4	6.80	19.2%	48.1%	69.2%
		5	6.80	10.0%	36.7%	64.7%
		6	6.79	0.9%	8.3%	29.4%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4123	細川 裕子	1	6.79	59.8%	80.5%	87.6%
		2	6.80	30.3%	57.6%	79.4%
		3	6.80	19.6%	50.3%	72.4%
		4	6.81	19.1%	45.5%	70.8%
		5	6.81	14.1%	37.2%	60.9%
		6	6.80	2.9%	18.3%	48.1%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4450	平高 奈菜	1	6.77	70.9%	83.0%	88.3%
		2	6.78	21.6%	53.6%	72.5%
		3	6.79	13.9%	41.7%	65.3%
		4	6.80	15.2%	41.7%	63.6%
		5	6.79	10.3%	24.3%	55.1%
		6	6.80	2.5%	16.0%	32.8%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4387	平山 智加	1	6.76	67.1%	79.6%	88.9%
		2	6.76	23.5%	50.3%	69.1%
		3	6.77	17.8%	43.2%	64.4%
		4	6.78	14.7%	42.3%	69.9%
		5	6.77	9.8%	28.6%	51.8%
		6	6.78	0.8%	12.8%	38.4%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4961	西橋 奈未	1	6.78	68.4%	79.1%	88.7%
		2	6.78	26.1%	57.1%	71.4%
		3	6.79	25.2%	56.3%	69.6%
		4	6.79	16.1%	35.7%	61.5%
		5	6.78	12.4%	29.8%	44.6%
		6	6.79	2.2%	14.4%	47.8%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4183	宇野 弥生	1	6.79	73.1%	83.3%	86.6%
		2	6.80	29.3%	52.7%	68.9%
		3	6.80	20.2%	44.8%	56.4%
		4	6.80	25.1%	38.0%	55.6%
		5	6.80	6.4%	22.1%	37.1%
		6	6.80	6.2%	13.8%	25.4%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4627	藤原 菜希	1	6.78	73.3%	85.7%	93.8%
		2	6.78	37.9%	60.0%	70.7%
		3	6.79	15.9%	43.2%	60.6%
		4	6.80	22.6%	39.8%	69.9%
		5	6.79	13.7%	30.6%	53.2%
		6	6.78	5.1%	20.4%	36.7%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4433	川野 芽唯	1	6.81	65.5%	79.3%	88.2%
		2	6.83	26.2%	48.5%	68.5%
		3	6.81	23.9%	54.5%	73.9%
		4	6.81	7.6%	42.1%	62.1%
		5	6.83	3.5%	25.2%	54.8%
		6	6.83	3.3%	19.0%	43.8%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
3618	海野ゆかり	1	6.80	72.0%	87.1%	92.0%
		2	6.80	22.2%	52.5%	71.5%
		3	6.81	21.8%	46.1%	67.3%
		4	6.80	16.2%	38.7%	59.5%
		5	6.82	11.9%	26.7%	47.4%
		6	6.81	2.5%	9.3%	30.5%

DATA-4 展示コンディションデータ

各選手の展示タイムの平均は6.70台後半～80前半が多いが、蒲郡ではこの冬は6.60前後も出ているので、本番ではそれを加味したうえで参考にしたい数値だ。注目したいのはコース別の1着率。まずイン戦最高は藤原菜希の73.3%。70%超は7人いて、大きな差ではないが、60%を切っているのは細川裕子のみ。やや波乱含みと言えるだろう。そのほかのコースも見ていこう。2コースの最高はこちらも藤原菜希で37.9%。遠藤エミ、細川裕子も30%オーバー。3コースの最高は25.2%の西橋奈未。鋭いハンドルで沸かせるシーンが多い。遠藤エミ、渡邊優美、宇野弥生、川野芽唯、海野ゆかりが20%を上回っている。カドが見込める4コースはスタートが早い宇野弥生が25.1%でトップ。三浦永理、浜田亜理沙、藤原菜希も得意としている。一気に1着率が落ちる5コースは14.1%の細川裕子が最高値で、藤原菜希～西橋奈未・浜田亜理沙と続く。大外はこのクラスでも苦戦必至。三浦永理の6.6%が最高で、遠藤エミ、宇野弥生、藤原菜希が5%超え。こうしてみると、藤原菜希の総合力の高さが光るが、大一番ではどうなるだろうか。



全コース注目の藤原菜希



内寄りの安定感が抜けている遠藤エミ

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4502	遠藤 エミ	1	6.77	70.2%	82.7%	90.7%
		2	6.80	33.8%	62.0%	74.6%
		3	6.79	20.3%	48.6%	70.9%
		4	6.81	15.6%	42.2%	63.9%
		5	6.81	8.3%	22.8%	44.1%
		6	6.80	5.1%	14.7%	37.5%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4208	三浦 永理	1	6.77	73.0%	88.4%	93.1%
		2	6.78	22.1%	53.4%	73.0%
		3	6.78	16.5%	41.8%	70.9%
		4	6.78	20.5%	45.8%	73.5%
		5	6.78	10.3%	29.7%	53.9%
		6	6.79	6.6%	24.0%	47.1%

登番	選手名	コース	平均展示T	1着率	2連対率	3連対率
4546	浜田亜理沙	1	6.80	63.3%	77.1%	87.2%
		2	6.81	26.8%	64.4%	79.2%
		3	6.81	16.9%	52.8%	71.1%
		4	6.80	21.1%	53.2%	73.1%
		5	6.82	12.4%	37.2%	59.7%
		6	6.82	4.1%	19.8%	51.2%



外でも一撃の魅力がある宇野弥生



守屋美穂はここで存在感をアピール



20年当地LCCで優勝している寺田千恵

クイーンズ クライマックス シリーズ(GⅢ)

GI選出除外中の守屋美穂がこちらに登場!
他にも田口節子、寺田千恵、長嶋万記など
QC常連組が多数参戦し、激戦は必至だ!

今年のシリーズ戦には、唯一クイーンズクライマックス皆勤賞だった寺田千恵を始め、QC常連組が集結することになった。中でも児島周年とオールスターの準優勝戦のFにより、来年の7月30日までGI、GⅡを走ることができない守屋美穂の出場は目を引く。

寺田、守屋に加え、21年、22年とクイーンズクライマックスを連覇した田口節子と3人の強力な岡山勢がシリーズ戦の中心となる。中でも田口は、ここ3年で蒲郡は2節のみの出走ながら、昨年のレディースオールスターの優勝戦2着を含む2優出1Vと相性抜群だ。

昨年の蒲郡LASでその田口を破り優勝したのは、やはりQC常連の長嶋万記。3年ぶりのシリ

●クイーンズクライマックスシリーズ戦 出場予定選手

順位	登番	氏名	支部	勝率	蒲郡勝率	順位	登番	氏名	支部	勝率	蒲郡勝率
13	4482	守屋 美穂	岡山	7.26	7.44	37	4536	喜井つかさ	岡山	6.22	-
14	4050	田口 節子	岡山	7.11	8.42	38	5174	川井 萌	静岡	5.69	5.05
15	3435	寺田 千恵	岡山	6.64	7.00	39	4569	中澤 宏奈	東京	5.67	4.59
16	4190	長嶋 万記	静岡	6.33	6.63	40	5205	刑部亜里紗	静岡	5.86	4.43
17	4286	平田 さやか	東京	6.08	5.00	41	4853	前原 哉	岡山	4.58	5.58
18	3188	日高 逸子	福岡	6.00	6.70	42	4499	滝川真由子	長崎	6.13	6.19
19	4963	實森 美祐	広島	6.44	6.86	43	4791	黒澤めぐみ	東京	5.27	3.06
20	4738	清埜 翔子	埼玉	6.10	5.94	44	4845	前田 紗希	埼玉	6.02	5.29
21	3611	岩崎 芳美	徳島	5.93	6.69	45	4011	堀之内紀代子	岡山	5.35	6.82
22	3900	香川 素子	滋賀	6.06	5.44	46	4900	中田 夕貴	埼玉	5.66	5.13
23	4478	櫻本あゆみ	群馬	5.90	6.63	47	4611	今井 美亜	福井	5.95	5.53
24	4773	中川 りな	福岡	5.96	-	48	5013	山下 夏鈴	三重	5.05	4.61
25	4117	廣中智紗衣	東京	6.39	6.36	49	4473	藤堂 里香	福井	5.66	5.20
26	4884	勝浦 真帆	岡山	5.72	5.24	50	3994	小野 桜	滋賀	5.78	5.25
27	4240	今井 裕梨	群馬	6.13	5.06	51	4678	水野 望美	愛知	5.56	4.87
28	4927	関野 文	大阪	6.24	5.73	52	4680	後藤 美翼	東京	5.54	5.23
29	3845	中谷 朋子	兵庫	6.17	7.31	53	5241	門田 栞	香川	4.32	5.40
30	4804	高田 ひかる	三重	6.22	6.66	54	4843	深尾 巴恵	静岡	4.95	4.33
31	4065	金田 幸子	岡山	5.95	6.50	予備1	4243	西村 歩	大阪	5.5	5.05
32	4819	蜂須 瑞生	群馬	6.00	-	予備2	3474	松瀬 弘美	静岡	5.33	5.05
33	4501	樋口由加里	岡山	5.58	5.85	予備3	5057	上田 紗奈	大阪	5.67	7.07
34	5045	平川 香織	埼玉	5.49	5.15	予備4	5019	柴田 百恵	静岡	4.93	5.06
35	4443	津田 裕絵	山口	5.50	5.31	予備5	4525	真子奈津実	福岡	5.37	5.48
36	3334	角 ひとみ	広島	5.25	4.52						

※勝率は24.1.1~11.24、蒲郡勝率は21.11.1~24.10.31

ズ戦となる。長嶋も田口に負けじとここ3年で蒲郡を5節走り3優出2Vと結果を残している。しかしここ2節は昨年のSGダービーでは4日目1号艇で転覆し負傷帰郷、今年の東海地区選では初日にFと散々。悪いイメージを払拭できるか。

日高逸子や岩崎芳美、香川素子といった強豪ベテラン勢も揃ったが、いずれもここ数年蒲郡では苦

戦傾向なのが気がかり。ベテラン勢の中では中谷朋子が当地との相性が良い。

他には10月に当地ヴィーナス戦でうれしい初優勝を果たした勝浦真帆や、女子の特別戦で数々の強力なイメージを残してきた實森美祐など注目のメンバーが揃った。クイーンズクライマックスシリーズ戦史上最高のメンバーが集まったと言っても過言ではない!

地元番記者が厳選 蒲郡の注目エンジンを丸裸に!!

18 号機	評価 A	16 号機	評価 A	62 号機	評価 S	64 号機	評価 S	63 号機	評価 S
2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況
52.1%	↗	39.7%	↗	41.2%	↑	45.1%	↗	43.6%	→
<p>出足寄りに分類され、回ってからの加速感がセールスポイント。差して一気に並びかけるため1着本数も多い。</p>		<p>当初はエース候補の呼び声も高かったが、転覆で小休止。それでも秋口から復調してきた。ポテンシャルは十分だ。</p>		<p>5節連続でB1級が乗っていたが、それでも3度の予選クリア。10月のヴィナスSでは勝浦真帆が初Vと上向き。</p>		<p>使用8節でトップレベルに仕上がった回数は3。特徴はそれぞれ異なるが、優勝戦の中でも指標になる足だった。</p>		<p>初下ろしから気配上々。行き足から伸びに特徴表れる。まだエース機と断言は出来ないが、一番近い存在だろう。</p>	

72 号機	評価 A	55 号機	評価 A	39 号機	評価 A	19 号機	評価 A	11 号機	評価 A
2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況	2連対率	近況
44.1%	→	48.1%	→	32.3%	↑	41.3%	↗	50.0%	↗
<p>4節連続でA1級が乗艇して吉田拓郎がV。B級が乗った時の動向に注目が集まったが、3節とも動きはまずまず。</p>		<p>8月に菅章哉がチルト3度で優勝。その後も伸びに特化した調整の方が結果に繋がっている。バランス面が課題。</p>		<p>当初はパツとしなかったが、尾嶋一広が乗って大変身。その後も石丸小楨、松本庸平のレース足が光っていた。</p>		<p>水準レベルで推移していたが、10月末に地元の永井源が乗って一段階アップへ。続く金山立樹も相当な足だった。</p>		<p>なかなか中堅の域を脱せなかったが、秋口から上昇カーブ。元々航走テストタイムが良く能力は秘めていた。</p>	



欲しいと願うばかりだ。パワーなだけに、何とか12位以内に入ることが自慢の優秀機。現時点では14位

確認するエース機は不在だが、エース候補の3機をS評価とした。筆頭の63号機は、ストレート

切りは11月16日。本番までに4節も予定され、29日からは温水パイプが装着される。数字と相場の変動は注視したい。

当該のモーターは7月16日に行われて4か月が経過。48号機のみが9節使用されているが、残り

**Q62・63・64がスリートップを形成
C使用機は直前の成績で決定!**

確固たるエース機は不在だが、エース候補の3機をS評価とした。筆頭の63号機は、ストレート

確認するエース機は不在だが、エース候補の3機をS評価とした。筆頭の63号機は、ストレート

切りは11月16日。本番までに4節も予定され、29日からは温水パイプが装着される。数字と相場の変動は注視したい。

当該のモーターは7月16日に行われて4か月が経過。48号機のみが9節使用されているが、残り

から64号機も相当なレベル。昨年の当地エース機に乗艇した古川誠之が「昨年のエースと似たような感触がある」と大絶賛。お盆の前田聖文、9月の宇野博之を含め3節でトップクラスの動きを披露している。62号機は初下ろしから5節